

2020年度入職:わたしたちの軌跡 11か月目に入りました

Q:今の業務内容について教えてください

大きく変わったことはありませんが、日勤の業務は自立しました。ちょっと困ったことがあったら先輩に助けをもらいながら、3~4部屋を担当しています。今、受持ち患者さんを1人担当し、その患者さんのケアプランの評価や、カンファレンスで話し合われた内容をまとめました。看護技術は概ねできるようになりました。中心静脈栄養の挿入介助はまだですが、見学したり、少し介助したりしています。

Q:大切にしている看護を教えてください

看護は考え中なんですけど、学生の時に先生に個別性を考えなさいと言われていたことが、仕事をしてあらためて大切だと思っています。薬の飲み方も離床の方法も患者さん一人ひとり違うので、個別性を考えながら看護をしていきたいです。

3階1病棟 医療療養病棟
関 彩音 さん

Q:2021年目標

フォローをしてもらっての1年でした。今度は、カンファレンスなどで自分が持っている情報や意見を発信したいです。

毎回成長を感じ、自信をもって前進してほしいと思っていました。今回は、落ち着きを感じられ、「できないです」という言葉も全く聞かれず、自信をもって前進している関さんを感じました。嬉しい限りです。2年目がますます楽しみです。

インタビュー担当

Q:2020年4月の自分に声をかけるとしたら...

5月に配属部署が決まり、環境もなにもかもわからず怯えていた自分へ...
皆さんが優しく接してくれ、できないと思っていたことが出来るようになるので「安心しろよ」と言いたいです。

Q:いよいよ後輩が来ます。どんな先輩になりますか

正直全く自信がないですが、一つ上の先輩がいつもきばき動けてすごいなと思っていました。自分もその先輩のようになりたいと思います。また、先輩がよりそって声をかけてくれ安心できたので、私もそうなりたいです。



2020年度入職:わたしたちの軌跡 8か月目に入りました

Q:業務について

一人でできることが増えました。経験の少ない技術は、まだ自信がありませんが、サクシオンは機会が増え、自立できました。今、目標にしていることは、もっとアセスメント力をつけて行動できるようにしたいと思っています。日頃から先輩たちをみたり、カンファレンスの場などで先輩たちの考えを聞いて学んでいます。



Q:自信が持てたり、できるようになったことは何ですか

女性の尿道留置カテーテルの交換が出来るようになりました。毎月、看護科長と看護主任とプリセプターで面談を行う中で、出来ていることに気づくことができ、自分の実施していることが間違いじゃなかったと確認することができています。

Q:KOMIケアの研修で学んだことを教えてください

最近、担当する患者さんが多いため、なかなか一人の患者さんにじっくり関ることができませんでしたが、研修を通して、ケアの根拠を確認したり、リハビリの内容や回数など情報を得てさらに患者さんを理解することができました。患者さんは臥床しがちですが、座ってリハビリやティータイムを行っていました。そのことに着目して、自分も関り、持てる力を高めるケアができるようになりたいと思いました

Q:コロナ禍、ストレス発散方法を教えてください

お菓子を食べています。出掛けて食べることができないので、どうしても食べたい時は、がんばって作っています。実家なので独りぼっちではないのでいいです。



3階1病棟 医療療養病棟
関 彩音 さん

Q:昨年今頃は何をしてましたか

実習が終わり、卒論に取り組んでいたころです。愛全病院が決まっていたので高齢者についてちょっと調べたり、こういう処置をするのかなと考えていました。国家試験の試験勉強をしながら老年の事を考えていました。

前回までは「できないです」と自信なさげに話していましたが、今回は、自信をもって仕事をしていることが伝わり、成長している姿を嬉しく思いました。

インタビュー担当

2020年度入職:わたしたちの軌跡 6か月目に入りました

Q:学習はどのようにしていますか

学習方法は以前と変わらず、教科書をベースに学習しています。
先輩に紹介された高齢者に関する本を購入しました。
最初のころは、全部網羅して学習しなければと思っていましたが、必要な内容を考え学習をしています。



Q:研修で特に活用できたものはなんですか

採血が苦手なので、研修が2回あったことは良かったです。食事介助の研修も、実際行っているケアなので、どうしたらいいかと考える機会になりました。

Q:今の目標を教えてください

日々のことでいっぱいです。自立できることが増えたらいいと思っています。

Q:今、行っている業務を教えてください

今は、3部屋を担当し、患者さんは10～12人受け持っています。
尿道留置カテーテル挿入などの特別な処置がない限り、1日の行動予定を考えて動いています。
最初の頃より優先順位を考慮できるようになってきました。
サクションなども自立し、夜勤でも一人でサクションを行っています。

Q:嬉しかったことを教えてください

今月病棟で秋祭りがあり、初めてリクレーションに参加しました。患者さんの普段見ることのできない笑顔を見ることができ嬉しかったです。

Q:私の就活

3.4年に実習が詰まっていたので、就活は2年生の冬から始めました。ノートにまとめて検討しました。



3階1病棟 医療療養病棟
関 彩音 さん

Q:仕事は楽しいですか

できることが増えるとともに責任が重くなることを実感しています。
出来ないことも多く、できないと気持ちが落ち込んだまま帰宅することがありますが、寝たらちょっとずつ元気になっています。
楽しいかどうかは、半々です。

2020年度入職:わたしたちの軌跡 4か月目に入りました

Q:いま行っている業務を教えてください

7月入ってから2部屋、8名の患者さんを受け持っています。3日ずつ受け持つ部屋が変わり、チームの半分ほどの患者さんを担当しました。日々のバイタル測定や点眼処置、車いす移乗を行っています。先輩に見守りや指導をしていただきながら、経管栄養や血糖測定、インシュリン注射を実施しています。マーゲンチューブや尿道留置カテーテルの交換や採血も実施しています。

Q:配属後、嬉しかったことを教えてください

ローテーション研修で3階1病棟を経験し、忙しい部署だと思っていました。忙しさはありますが、少しずつ経験を広げることができています。できなかった処置ができるようになって、患者さんのためにできることが増えていると思います。嬉しいですね。患者さんも「関さん」と私のことを覚えていただき、嬉しいです。3階1病棟の一員だと思えるようになりました。

Q:学習はどのようにしていますか

先月までは、患者さんに関わる病気を学習していました。今は、看護科長からアドバイスをもらったり、先輩たちから資料を紹介していただき、高齢者の特徴を踏まえた看護を学習しています。今月先輩たちに学習したことを提出する予定です。

Q:困ったこと、不安な時はどうしていますか

毎日指導者がついてくれるので、困ったらすぐに報告してアドバイスを受けています。配属して間もなく、自分でできることも依頼される患者さんの関わり方で困ったときに、先輩に相談したらアドバイスをもらいました。そのアドバイスを実践することで患者さんと少しずつ関ることができるようになりました。

Q:就職先を考えている看護学生に一言

実習に行って老年看護をやりたいと思いました。実習で急性期看護も経験しましたが、やっぱり老年看護がやりたいと思いました。インターンシップに参加するといいですよ。



3階1病棟 医療療養病棟
関 彩音 さん

